

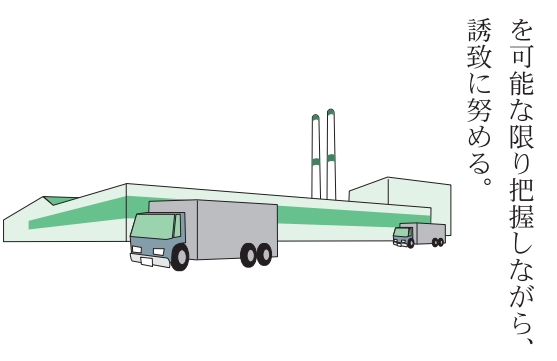
施政方針から

とみた まさる
富田 勝

問 行財政改革について、使用料、手数料、補助金の見直しは財源確保と関係するか。
答 見直しに係る新たに確保できる財源が、約1億200万円。経費が約900万円である。

問 子育て支援に力を入れると示されている。であるなら、子供や障害者には特に使用料など減免すべきと思うが。
答 公平性の観点から、受益者負担の原則に基づき見直し

問 新規企業の誘致について、現在、誘致できる場所は何カ所、どのくらいの面積があるのか。
答 既存工業団地には、ほとんど用地がなく、規模の大きな企業の誘致は困難な状況である。工場跡地や未利用地については、土地所有者の意向



を可能な限り把握しながら、誘致に努める。

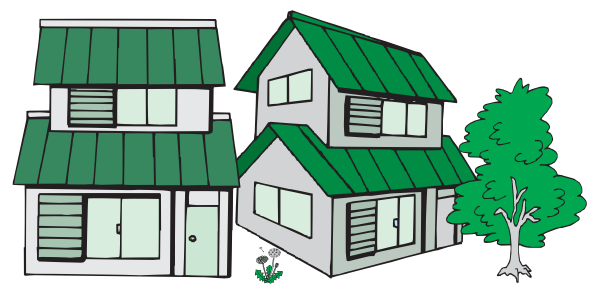
問 農業振興地域でも農振除外を積極的に進めるべきと思うが。深谷市は農業を売りにしている都市である。企業誘致を進めるには、農地を除外しなければならぬが、こうした相反する面を市はどのように考えるのか。
答 平成21年12月に農地法等が改正され、除外について厳格化された。また、県でも農用地を64ヘクタール増加させる目標を掲げた。市としても、主要な農地については、農業振興を図ることが重要と考えている。しかしながら、就業機会をつくることも重要であり、工場等の立地のための市内協議を行っていく。

安全・安心の街づくりは？空き家対策を問う！

なかや ひさこ
中矢 寿子

問 高齢化や過疎化などを背景に、全国的に空き家の軒数は増加傾向にある。総務省の統計調査(2008年)によると全国の空き家は約756万戸といわれる。市内を回っていると、今にも崩壊しそうな家が目立つ。老朽化した空き家は、自然災害時に、倒壊の危険性、害虫の発生などの被害が考えられる。また犯罪の温床にもなりかねない。市内に放置されている空き家や、空き地等の実態調査は行っているのか。
答 現在、空き家等の実態調査は実施してないが、空き地等の苦情に関するパトロールの時や、職員からの情報提供、自治会との連携による情報収集を行っている。

問 空き家等の適正管理に関する条例を定めることで、所



有者に空き家の適正な管理を義務付けるとともに、空き家などが管理不全な状態になることを未然に防げると思うが、条例を制定する考えはないか。
答 「くらしの環境美化条例」により、空き地・空き家等に関する苦情について所有者や管理者に適正な管理をするよう指導し、対応できている。また、火災の心配がある等の苦情については、火災予防条例に基づき、消防本部と連携し所有者に指導している。今後も、関係機関と連携を図り、市民の快適な暮らしと良好な生活環境の推進を図っていき

医師不足解消施策初年度約3千7百万円計上

かとう あつこ
加藤 温子

問 短期的対応寄附講座とは。
答 埼玉県、深谷市、深谷赤十字病院と大学で、特定テーマの研究講座開設のため協定を結び、研究に携わる指導的立場の医師1名と若手医師2名を大学から深谷赤十字病院に派遣するシステム。平成23年度1千万円を予算計上。

問 後期研修医研修資金貸与制度及び医師育成奨学金貸与制度創設の検討経緯と各々の予算及び財源捻出の考えは。
答 医師確保は第一義的には深谷赤十字病院の責任と考えるが医師不足の状況を受け、他自治体の調査や県医療整備課との協議により検討。平成23年度後期研修医研修資金貸与に490万5千円、医師育成奨学金貸与に2164万7千円を予算計上。今後5年間継続計上。一般財源で対応。

自治会運営とごみ収集の問題点

ゆきお 征雄
くりはら 栗原

問 自治会未加入者は、ごみ収集所を利用することができないのか。
答 自治会未加入者の収集所利用については、利用者がその収集所の利用ルールを守ることを条件に、自治会未加入者でもごみ収集所の利用をしているのが現状である。

問 自治会に加入したくても加入金がかかり加入が難しい。市から指導はできないのか。
答 自治会に加入するときの加入金については、市では詳しくは把握していないが、通常だと加入金ではなく、毎年の自治会費を支払い、自治会に加入していると聞いている。

遊歩道計画について

問 スマイルパーク東側遊歩道計画の、今後の進捗状況について聞きたい。



スマイルパーク東側遊歩道

答 スマイルパークから市道幹25号線南側までは、平成17年度に整備を完了した。市道25号線から福川までの整備について、曲田排水路にふたをかけて歩道を確保することは、構造面やコスト面を考えると、厳しい財政状況から、大変難しい状況である。当区間には、排水路に沿っての現道もあることから、今後とも安全面に配慮し、水路や道路の管理に努め、皆様の利用を考えている。

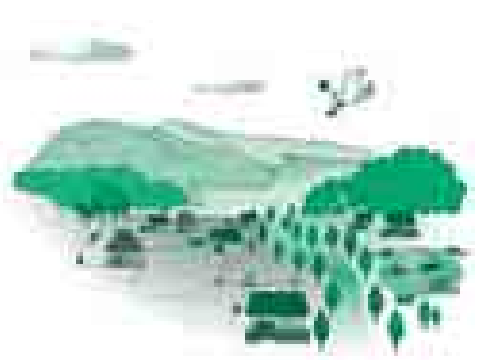
問 現況の遊歩道が暗いので、外灯の設置はできないか。
答 スマイルパークから市道幹25号線までの遊歩道については、道路交差点や住宅地付近の4カ所に外灯が設置されている。今後は利用状況を十分調査し、地元自治会等と協議して検討していく。

教育委員会組織の改革検討を

のぶよし 信吉
たじま 田島

問 本年度実施方針で示された、こども未来部の創設は、教育委員会所管の青少年健全育成に関する事務の移管を最重要視したとしているが、その効果には疑問も多い。市長部局と教育委員会分掌事務には見直すべき多くの課題がある。教育委員会は学校教育に特化すべきであり、社会教育やスポーツ振興、文化財保護等は、市長部局が効率的である等の考えもある。現行法でも市長部局に移管可能であり、組織改革を研究すべきであるが見解を聞きたい。

答 こども未来部の子育てサポートの整備と教育委員会の現場との関係については、より一層の連携が必要であり、ご意見等参考に、子供たちのために市は何をなすべきなのか、よりよい組織づくりを研



究していきたいと考えている。

問 農業センサス速報値によれば、県内農業従事者の年齢層は70歳から74歳が最も多く、平均年齢も66歳を超えた。市では地域にもよるが、農家の廃屋や草木繁茂した屋敷等も目にする。こうした現象はごく近い将来の農村や農業の崩壊をも予感させる。農業先進地として対応を研究すべきである。
答 農業後継者確保対策や農業基盤整備などに取り組んでいる。農村地域に農家や非農家の方が住みたくなくなるような農村環境づくりを研究していく。

「議会だより」はホームページでも見られます。市のホームページを開き、「深谷市議会」、「議会だより」(PDF版)の順にクリックしてください。創刊号からご覧いただけます。